

アフタヌーンティワゴンサービス

栄養管理室長 浅井 慎 悟

入院患者さまにとって「食べる」ということは治療の一環としてだけではなく、つらい入院中であっても「**愉しみ (たのしみ)**」が得られる唯一のひと時と言えます。

そこで、七尾病院栄養管理室では入院患者さまからのご要望がありました「デザート&飲み物のワゴンサービス」を行いました。方法としては各病棟の病室まで専用のワゴン車にてケーキ・ゼリー・ムース・アイスなどのデザート類とコーヒー・紅茶・日本茶などの飲み物類を持参して、その中から患者さまが好きなものを選び召し上がっていただくというものです。

デザートの内容として、ケーキ類は定番のロールケーキやシフォンケーキから始まり、バナナ・リンゴ・オレンジを用いたフルーツケーキや人参入りのキャロットケーキ、形態を調整した各種ムース類やトマトをふんだんに使用したトマトゼリー、溶けにくいジェラートなど、当院のオリジナルデザートを多数用意しました。

当院の入院患者さまは食事（栄養）を口からではなく、胃や鼻、点滴などから補給している方も多くいらっしゃいます。そのような患者さまにも少しでも口から食べてもらえるように、リハビリテーション科を中心に医師・看護師が患者さまの食べる機能（摂食・えん下）を確認しながら進めていきました。それによって久しく口から食べるのでできなかった患者さまもデザートをおいしく食べることが可能となり、笑顔も見ることができました。

今回のデザートワゴンサービスは入院患者さまの「愉しみ」や「満足感」につながる一助となることが理解できました。引き続き、患者さまの満足度向上に貢献できるよう取り組んでいきたいと考えます。

